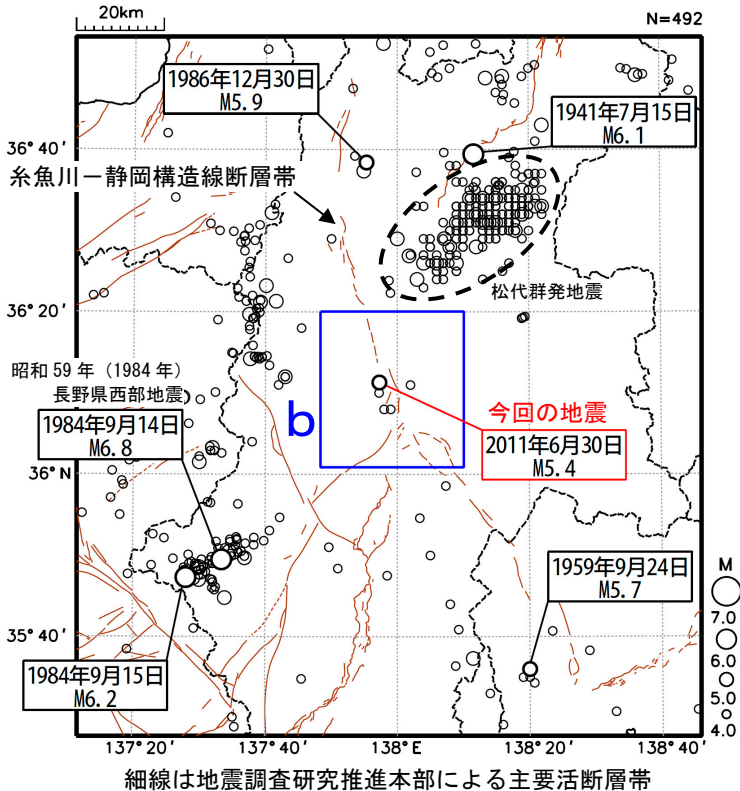


6月30日 長野県中部の地震（過去の活動）

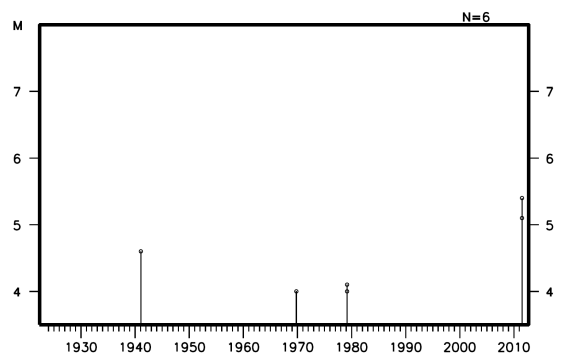
震央分布図（1923年8月1日～2011年7月6日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$ ）



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、今回の地震が発生するまで、 $M5.0$ 以上の地震は発生していませんでした。

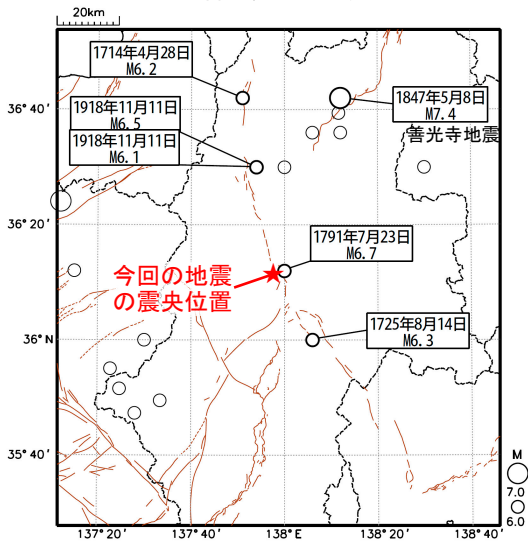
領域bの外側では、 $M6.0$ を超える地震も発生しており、1984年9月14日に発生した昭和59年（1984年）長野県西部地震では、死者29人、負傷者10人、住家全壊14棟、半壊73棟などの被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域b内の地震活動経過図



江戸時代以降の震央分布図

※ 1923年7月以前の地震の震源要素は
理科年表による。



細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯

江戸時代以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺でも $M6.0$ を超える地震が発生している。「最新版 日本被害地震総覧」によると、以下のような地震被害が知られている。

- 1714年4月28日の $M6.2$ の地震
死者100人、負傷者37人、住家被害594棟など
- 1725年8月14日の $M6.3$ の地震
高遠城の石垣崩壊、土手崩壊など（城下の被害は不明）、諏訪高島城の石垣等崩壊、山崩れなど
- 1791年7月23日の $M6.7$ の地震
松本城の塀等崩壊、住家被害など
- 1847年5月8日の $M7.4$ の地震（善光寺地震）
死者8,174人、負傷者4,116人など